

Articles

Conferences  
& Lectures

Research  
Activities

[東洋文庫アジア資料科学研究シリーズ 2016年度]  
モリソンコレクション将来100周年記念—紙料調査の意義と課題

# コディロジーの未来をみつめて —「紙」・「印刷」・「出版」を科学する—

【会場】 東洋文庫2階講演室

【参加料】 無料（講習会要申込み）

\*本事業は文部科学省の平成28年度科学研究費補助金（特定奨励費）の助成を受けたものです。

## プログラム

### 第1部 1月27日（金） 特別講演会

15:30～17:30 アンナ=グローテ リシエル（Anna-Grethe Rischel）

（デンマーク国立博物館紙保存名誉研究員・紙の歴史研究者国際協会会長）

「ヨーロッパにおける紙の歴史——Watermark（透かし）の導入とその技術的發展」

司会：江南 和幸（東洋文庫研究員・龍谷大学名誉教授）

### 第2部 1月28日（土） 講習会（要申込み、30名限定）

9:30～10:00 趣旨説明：濱下 武志（東洋文庫研究部長）

10:00～10:40 石塚 晴通（東洋文庫研究員・北海道大学名誉教授）

「料紙の質と典籍の位相—中国及び日本の写本・版本を例として」

10:40～11:20 江南 和幸（東洋文庫研究員・龍谷大学名誉教授）

「アジア・ヨーロッパ刊本用紙の比較研究」

11:20～12:00 中西 保仁（印刷博物館学芸員）

「なぜ活版印刷はメディア革命を起こせたのか」

13:00～15:00 パネルディスカッション・総合討論

パネラー：Anna-Grethe Rischel、石塚 晴通、江南 和幸、中西 保仁

司会：濱下 武志（東洋文庫研究部長）